

花園大学 ZEN to you&you 中期ビジョン2021

Road to the Hanazono University 150th Anniversary

理念

禪的仏教精神による人格の陶冶

ミッション

自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成する



「教育力」
の強化

学生一人ひとりを大切に丁寧な教育と、その成果に対する「教育の質的保証」を徹底し、社会に貢献する人間を育成する。



「研究力」
の強化

禅・仏教、歴史、文学、社会福祉といった諸分野の研究を行い、その成果を国内外に公表し、社会に貢献する研究体制を構築する。



「学生支援力」
の強化

学生一人ひとりが安心して学業に専念し、充実した学生生活を送り、社会に貢献できる力を身につけることができる体制を構築する。



「就職支援力」
の強化

キャリア教育を充実させ、個々の学生の希望・能力・個性にマッチングした就職支援を実施して、高い就職率が実現できる就職支援体制を構築する。



「経営力」
の強化

財政基盤の安定化と組織の活性化を図り、改革の計画実現を目指す。

教育の方針

I. 教育の質的保証の徹底

- 「教育の質的保証」に対応した学士課程教育を実施するために、教学マネジメント体制および教学IR体制を確立する。
- 学生の学習成果を測定し、教育課程を改善するためのPDCAサイクルを確立するために、全学的・統一的なアセスメントを実施する。

II. 教育力の強化

- 初年次教育・キャリア教育に力を入れ、学生の基礎学力、コミュニケーション能力、社会人基礎力等の向上を目指す。
- 専門教育に力を入れ、学生の学力の向上、各分野の専門職の養成、資格取得率・国家試験合格率の上昇などを目指す。
- 地域社会と連携し、地域における諸課題に取り組む教育・研究を推進し、社会に貢献できる人材を育成する。
- 学生の主体性、批判的思考力、問題解決能力などを養成するためにアクティブ・ラーニングを推進する。
- 本学が培ってきた教育・研究の成果を基盤として生かし、学部、学科の再編・刷新を行う。
- 留学生が日本語力を向上させるための教育課程を設け、留学生の受け入れを推進する。

研究の方針

I. 研究成果の「創出」と「発信」

- 各分野の学界をリードする研究成果を創出することを目指す。
- 「地域連携」の一環として、地域社会における諸課題を解決できる研究成果の創出を目指す。
- 研究成果を「社会貢献」として国内外に発信し、花園大学のステイタスアップを図る。

II. 研究の「資金力」の強化、連携研究の推進

- 科学研究費の申請を奨励し、その獲得を目指すとともに、その他の外部資金の獲得をも目指す。
- 地域社会における諸課題に取り組む研究については、企業や地方自治体などと協定を結んで連携して行う研究を実施し、「地域連携」の推進を図る。

学生支援の方針

I. 修学支援の充実

- 奨学金制度・授業料減免制度を整備・充実し、学生への周知徹底を図り、その有効な運用を実現するとともに、アルバイトの紹介など経済的支援を実施する。
- 配慮を必要とする学生の学修支援は、各教員と学務部等を中心とする職員が連携し、補習教育など個別の学修指導体制を構築する。

II. 生活支援の充実

- クラブ活動、学園祭、ボランティア活動、地域貢献活動を、大学として積極的に支援し、学生の自立と社会への貢献を促す。
- 学生の多様な相談・問い合わせに迅速かつ丁寧に対応するために、各部署間の連携強化を図るとともに、事務窓口の一元化体制を整備する。

III. 退学者・休学者の防止・減少対策の徹底化

- 入学前教育、新入生オリエンテーション、初年次教育等を充実させ、早期に高校生から大学生への移行と人間関係の構築を図る。
- クラスアドバイザー制度を発展させ、学生一人ひとりに迅速かつ丁寧に対応できる体制を構築する。

就職支援の方針

I. キャリア教育の充実

- 「キャリア・デザイン」を始めとする諸科目からなるキャリア教育を実施して、社会人基礎力・ジェネリックスキル等の養成を図る。
- キャリア教育については、キャリア教育科目、就職試験対策科目、免許・資格等の対策科目を組織化・体系化した「キャリア教育課程」に再編し、その整備・充実を図る。

II. 就職支援の充実

- 個々の学生の希望・能力・個性にマッチングした就職支援を行うために、個別就職相談、企業・諸団体と連携した説明会などを実施し、その充実を図る。
- 周辺地域の企業・諸団体への訪問を実施して大学との関係を構築するとともに、新規および継続的な求人を獲得する。
- 長期・短期のインターンシップへの参加拡大を図るために、学内制度の整備を行う。

経営の方針

I. 財政力の強化

- 大学を維持・発展させ、教育研究の充実を図るために、財務計画の目標値を設定し、厳格な予算管理のもとに財政基盤の安定化と健全な財政運用を図る。

II. 広報力の強化

- HP等、広報媒体の拡充、強化を図り、あらゆる機会を利用して広報活動を展開する。

III. 組織力の強化

- ガバナンスを強化するために、意思決定体制、執行体制の整備・強化を図る。
- 学生サービスの向上を目指して、事務組織の強化を図る。
- 事務の質向上と効率化を図るために、SDを推進する。
- 教職員の採用・昇任の方法・基準を検証するとともに、新たな業績評価制度を構築する。

IV. 社会連携力の強化

- 教育・研究活動等を通じて、大学として地域連携活動を推進し、地域社会に貢献することにより、本学が地域にとって存在意義のある大学と認められることを目指す。

V. キャンパス整備

- 学生が安心して学べて、満足できる環境を目指して、キャンパス整備を計画的に実施する。